

福生市議会だより

FUSSA

No.126
 発行 福生市議会
 平成11年7月25日
 〒197-8501 福生市本町5番地
 ☎ 042(551)1511(代表)

平成11年
 第2回定例会

介護認定審査会の委員の

定数等を定める条例を可決

＝平成十一年度一般会計補正予算(第一号・約三千万円追加)を可決＝

平成十一年度第二回定例会が、六月九日から二十四日までの十六日間の会期で行われました。今回の定例会では十四人の議員が一般質問を行い、「福生市介護認定審査会の委員の定数等を定める条例」を初めとする議案、及び「学校給食への自然食品(有機農産物及び特別栽培農産物)の使用促進に関する陳情書」等の審議が行われました。

本会議の経過

第一日目(九日)は、会期の決定等の後、五人の議員が一般質問を行いました。第二日目(十日)は、前日に引き続き、六人の議員が一般質問を行いました。

第三日目(十一日)は、三人の議員の一般質問の後、「福生市基本構想審議会条例を廃止する条例」等の四議案が可決され、「福生市表彰条例に基づく自治功労表彰について」等の七議案が同意されました。また、その外の議案と陳情は各委員会に付託され

ました。第四日目(二十四日)は、各委員会に付託されていた議案等の審査報告が行われ、いずれも可決されました。また、「福生市農業委員会委員の推薦について」の議案が議員から提出され、児島兵衛議員を推薦し、今定例会を終了しました。

主な内容

可決等された案件	2面
一般質問	3～5面
委員会の審査・活動	6面

定例会の日程

- 6月
 - 1日 議会運営委員会
 - 9日 会期の決定
 - 一般質問
 - 議会運営委員会
 - 10日 一般質問
 - 議会運営委員会
 - 11日 一般質問・議案審議
 - 14日 厚生委員会
 - 15日 建設委員会
 - 16日 総務委員会
 - 21日 議会運営委員会
 - 道路交通問題対策特別委員会
 - 福生病院移管対策特別委員会
 - 22日 横田基地対策特別委員会
 - 24日 議案の審議、委員会審査報告等
 - 議会運営委員会



△台風等の風水害に備えた大規模な総合水防演習が、見学者も多数詰めがける中、行われた。(6月17日 多摩川中央公園で)

請願・陳情を届ける方へ

請願・陳情書の提出については、毎年定例会が三月、六月、九月、十二月に開催されますので、提出される定例会初日の二日前までに議会事務局に提出してください。(土・日曜日及び祝日を除く午前八時三十分から午後五時まで受付)

提出された請願・陳情書の取り扱いについては、請願書は当該定例会の本会議で紹介議員から内容説明が行われ、議員の質疑を受けた後に所管委員会に付託され審査されます。また陳情書は、紹介議員は必要ありませんので、説明、質疑をせずに所管委員会に付託され審査されます。

なお、会期中については定例会前日以降、最終日の二日前までに提出された請願・陳情書の取り扱いについては、当該定例会では審査はされませんが、次回の定例会まで審査が継続できるよう委員会に付託するとともに閉会中の継続審査とされます。

(注)

- ① 請願書については、必ず福生市議会議員一人以上の紹介(自署と押印)が必要です。
- ② 郵送による陳情書は本会議で審査されませんので、必ず議会事務局へ持参してください。
- ③ 請願・陳情書提出の際には、本文の用語等の整理のため訂正が必要となる場合がありますので、印鑑を持参してください。

可決等された案件 (要旨)

今定例会に提出された案件は二十件でいずれも原案のとおり可決されました。

する条例の一部を改正する条例
基本構想審議会条例の廃止及び駐留軍関係離職者等対策協議会条例の廃止並びに新たに介護認定審査会設置に伴い改正するもの。

◆平成十一年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)
三千二百三十八万二千元を追加し、総額を三十二億七千四百四十二万四千円とするもの。
歳入では医療費交付金精算分三千九十九万九千円、歳出では一般会計繰入金二千九百四十五万一千円などの補正。

◆福生市下水道条例の一部を改正する条例
都の公害防止条例の改正に伴い、特定事業場から公共下水道に排除される下水の水質の基準を改めるもの。

◆展示施設改良工事(建築)請負契約
展示施設(プチギャラリー)改良工事(建築)について、鉄建建設株式会社と制限付一般競争入札による契約を締結するもの。

◆福生市第一小学校建物耐震補強及び内装改良工事(建築)請負契約
福生第一小学校建物耐震補強及び内装改良工事(建築)について、田村建設工業株式会社と制限付一般競争入札による契約を締結するもの。

◆福生市表彰条例に基づく一般表彰について
市議会議員として市行政に貢献(二名)
町会長等として市行政に貢献(七名)
駐留軍関係離職者等対策協議会委員として市行政に貢献(二名)
社会福祉協力委員として市行政に貢献(六名)
社会福祉協力委員及び消防団員として市行政に貢献(一名)
学校医、予防接種医、学校歯科医として市行政に貢献(三名)
消防団員として消防行政に貢献(八名)
学校備品購入資金として現金を寄附(一名)

◆福生市介護認定審査会の委員の定数等を定める条例
介護認定審査会の委員の定数(十四人以内)等を定めるために条例を制定するもの。

◆福生市第一小学校建物耐震補強及び内装改良工事(建築)請負契約
福生第一小学校建物耐震補強及び内装改良工事(建築)について、田村建設工業株式会社と制限付一般競争入札による契約を締結するもの。

◆東京都市町村公平委員会を共同設置する市町村及び一部事務組合の数の増加及び東京都市町村公平委員会共同設置規約の変更について
多摩地域農業共済事務組合が設立されたことに伴い加入させるためのもの。

◆福生市表彰条例に基づく一般表彰について
市議会議員として市行政に貢献(二名)
町会長等として市行政に貢献(七名)
駐留軍関係離職者等対策協議会委員として市行政に貢献(二名)
社会福祉協力委員として市行政に貢献(六名)
社会福祉協力委員及び消防団員として市行政に貢献(一名)
学校医、予防接種医、学校歯科医として市行政に貢献(三名)
消防団員として消防行政に貢献(八名)
学校備品購入資金として現金を寄附(一名)

◆平成十一年度福生市一般会計補正予算(第一号)
三千七十三万一千円を追加し、総額を二百十二億九百三十四万五千円とするもの。
歳入では老人保健医療特別会計繰入金二千九百四十五万一千円、歳出では予備費二千四百九十八万三千円などの補正。

◆福生市教育委員会委員の任命について
前原照美氏を同意

◆福生市非常勤の特別職の職員報酬及び費用弁償に関する条例
所期の目的を達成したことに伴い廃止するもの。

◆福生市農業委員会委員の推薦について
児島兵衛氏を推薦



▲耐震補強及び内装改良がされる第一小学校

議会用語解説

【定例会】
地方公共団体の議会の会議の種類には、定例会と臨時会がありますが、定例会は提出案件の有無にかかわらず、条例に定められた回数(当市は四回)により定期的に開催されます。

【本会議】
全議員で構成する議会の会議のことをいい、議会にはこの本会議のほか、議員の一部をもって構成する委員会と呼ばれる会議があります。

【特別委員会】
議会の委員会の一種で、地方公共団体の条例で特別委員会を置くことができます。

特別委員会は、特に重要な事件等について、審査を行うために設置されています。当市では、横田基地対策特別委員会、道路交通問題対策特別委員会、福生病院移管対策特別委員会を設置しています。

【常任委員会】
複雑多様化、専門化した多くの案件を適切に審議するために分科的に審査することが能率的であることから、委員会を設置することができま。当市では、総務委員会、建設委員会及び厚生委員会を設置しています。

【一般質問】
議員がその属する地方公共団体の行政全般にわたるため、本会議で執行機関に対し事務の執行の状況及び将来に対する方針等について問い、説明を求め、または疑問を問いたすことを言います。

【議会運営委員会】
円滑な議会の運営のため、議会運営全般について協議、意見調整する場として設けられている委員会です。主に次の事を行っています。

①定例会、臨時会の議事日程、会期、議案、請願等の

【討論】
表決の前に、議題となつてある案件に対し賛成か反対かの自己の意見を表明することを言います。

※この議会用語解説のコーナーは、紙面の状況により継続して掲載する予定です。

「議会日誌」

▼4月	1日 多摩地域農業共済事務組合議会	9日 平成11年第2回定例会(1日目)
	2日 東京都市議会議長会	10日 平成11年第2回定例会(2日目)
	9日 東京都市議会議長会	11日 平成11年第2回定例会(3日目)
	16日 議会運営委員会(市会だより編集会議)	14日 厚生委員会
	27日 農業委員会	15日 建設委員会
	28日 例月出納検査	16日 総務委員会
▼5月	13日 平成11年第2回臨時会	21日 議会運営委員会
	20日 定期監査	16日 道路交通問題対策特別委員会
	24日 例月出納検査	16日 福生病院移管対策特別委員会
	25日 東京都市議会議長会	16日 平成12年度基地対策正副会長会議
	27日 東京都市議会議長会	22日 横田基地対策特別委員会
	定期総会	23日 全国市議会議長会総会
▼6月	1日 議会運営委員会	16日 例月出納検査
	3日 西多摩地区議会議長会	24日 平成11年第2回定例会(4日目)
	3日 関東市議会議長会	11日 議会運営委員会(市会だより編集会議)
	4日 関東市議会議長会支部長会議	

声の市議だよりを毎月お楽しみください

目の不自由な方のために、市議会の活動内容を収録した「声の市議会だより・カセット」を発行しています。ご希望の方にお届けしますので、議会事務局までご連絡下さい。

☎551-1511 (内線 512)

一般質問

(要旨)

市政のここが聞きたい

今定例会では、十四人の議員が一般質問を行い、市政全般にわたり市長にたずねました。三〇五面にその主な項目を掲載しましたが、紙面の関係から、すべての項目が掲載できません。詳しくは、会議録を図書館でご覧ください。なお、この一般質問の内容は、質問議員に確認をしております。

福生病院移管の進捗状況と今後の対応は

清水信作 議員

質問 福生病院移管の請願が二市一町で採択され、本年四月から準備室開設の運びとなったが、移管準備の進捗状況と今後の対応は。

市長 具体的な移管準備のための現状把握、一部事務組合設立に向けた検討、国保連合会、東京都等との打ち合わせなど、病院受け入れに向け検討を進めている。今後は大変大きな事業であるとの認識

市制三十周年記念事業について

質問 平成十二年七月の市制三十周年記念事業のために検討会を編成して進めるとのことだが、その後の活動状況は。また記念事業として特別表彰、NHKのご自慢やラジオ体操の誘致の状況は。

市長 検討会では各課からの提案や各市の調査を行い、二十六件の提案をいただいている。また、まちづくりモニターの見聞も伺っている。特別表彰については具体的な事例の検討を進めており、NHKの公開番組誘致については交渉を進めている。



▲保健・医療・福祉の拠点をめざす福生病院

横田基地返還・共同利用について

石川和夫 議員

質問 ①今回の石原知事提案の横田基地返還、共同利用に対する見解は。また過日の連絡協議会の感想は。

市長 横田基地は国策上容認しており、将来的には返還は望ましいと考えている。共同利用については周辺住民の声を集約して判断していくべきである。

質問 石原知事就任で横田基地問題が大きく取り上げられ、周辺市町連絡協議会の中

市長 横田基地は国策上容認しており、将来的には返還は望ましいと考えている。共同利用については周辺住民の声を集約して判断していくべきである。



▲毎年多くの人でにぎわう日米友好祭(昨年7月)

庁舎建設についての考え方は

森田昌巳 議員

質問 本庁舎は建築後三十年経過し、高齢者・障害者への配慮、災害時の対応などに問題がある。また施設が分散している現状から市民サービス、事務効率上からも早期検討が必要と思うが、見解は。

市長 新庁舎建設はどこかで結論を出さなければならず、第三期総合計画の中で方向を示し、市の判断の時期や取り組みについて早期に議会にも御相談させていただきたい。

質問 石原知事就任で横田基地問題が大きく取り上げられ、周辺市町連絡協議会の中

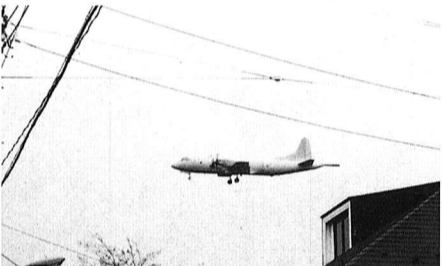
市長 横田基地は国策上容認しており、将来的には返還は望ましいと考えている。共同利用については周辺住民の声を集約して判断していくべきである。

質問 石原知事就任で横田基地問題が大きく取り上げられ、周辺市町連絡協議会の中

市長 横田基地は国策上容認しており、将来的には返還は望ましいと考えている。共同利用については周辺住民の声を集約して判断していくべきである。

石原知事の横田基地発言の対応について

遠藤洋一 議員



▲市内上空で訓練飛行する基地の輸送機

自由広場の今後の対応は

質問 自由広場は学校用地として買取してから二十年近く経過し、使用方法について、専門的な意見や市民の方々の意見を聞く時期にきていると思うが、今後の方針は。

市長 自由広場は学校用地として買取してから二十年近く経過し、使用方法について、専門的な意見や市民の方々の意見を聞く時期にきていると思うが、今後の方針は。

地球温暖化対策の取り組みを

森田昌巳 議員

質問 大量生産、大量消費、大量廃棄等の豊かな生活は膨大なエネルギーの消費となり、排出された二酸化炭素は温室効果ガスとなり、地球の温暖化を引き起こしている。地球環境保全のため一九九七年の京都会議で世界が協力してCO₂削減の約束をしたが、本市の温暖化防止対策への取り組み、市民への啓蒙の対応は。

市長 大量生産、大量消費、大量廃棄等の豊かな生活は膨大なエネルギーの消費となり、排出された二酸化炭素は温室効果ガスとなり、地球の温暖化を引き起こしている。地球環境保全のため一九九七年の京都会議で世界が協力してCO₂削減の約束をしたが、本市の温暖化防止対策への取り組み、市民への啓蒙の対応は。

小地域福祉活動の推進について

羽場 茂 議員

質問 介護保険の実施が迫ってきているが、安心した暮らしには、地域での支え合う活動もなくてはならない。その安心した暮らしのため、小地域福祉活動を推進し、人づくり、ネットワークづくりの取り組みを支援していくとのことだが、その後の状況と活動内容は。

市長 介護保険の実施が迫ってきているが、安心した暮らしには、地域での支え合う活動もなくてはならない。その安心した暮らしのため、小地域福祉活動を推進し、人づくり、ネットワークづくりの取り組みを支援していくとのことだが、その後の状況と活動内容は。



▲交通量が多い国道16号線

市長 温暖化防止の具体的な対応として自動車使用の自粛、アイドリングストップの励行、省エネはもとよりごみ減量のための分別、リサイクル

一般質問項目

(質問順)

- 清水信作 議員
 - 自由広場について
 - ①自由広場の今後の対応について
 - ②市民参加による利用案公募は
 - ③温水プールなど健康施設の考え方は
- 森田昌巳 議員
 - 環境対策について
 - 地球の温暖化防止対策の行政の取り組みと市民生活への啓蒙について
 - 福祉施策について
 - 小地域福祉活動の推進について
 - 都市基盤整備について
 - 玉川上水協の遊歩道の延伸について
 - 道路行政について
 - 高齢化社会に向けての道路整備について
 - 羽場 茂 議員
 - 中学校給食について
 - 中学校のデリバリーランチの現状とその評価について
 - 乳幼児医療費について
 - 乳幼児の医療費助成の所得制限について
 - 市民サービスの向上について
 - 石川和夫 議員
 - 道路行政について
 - 高齡化社会に向けての道路整備について
 - 石川和夫 議員
 - 乳幼児医療費について
 - 乳幼児の医療費助成の所得制限について
 - 市民サービスの向上について
 - 遠藤洋一 議員
 - ①住民票・印鑑証明等の自動交付機の導入について
 - ②住民登録時のゴミ収集カレンダー等の配付について
 - ③福生市健康カレンダーの作成について
 - 青海俊伯 議員
 - 教育行政について
 - 通学路の安全対策について
 - 福祉行政について

デリバリーランチの現状と

その評価について

羽場 茂 議員

質問 デリバリーランチ導入後さまざまな指摘があり、また総合計画修正後期基本計画でも今後は実施に向け方向性を決定していく必要があるとしているが、現状をどう評価し、給食実施に向けての決定はいつなされる見通しか。

教育長 毎日利用している生徒や、急な事情で弁当を持参できない生徒の利用があり、今後とも継続していく必要があると思うが、他市を参考にしながら家庭からの弁当併用方式の給食が当市で実施可能かどうか、研究しなければならぬと思っている。



▲昼食にパンを買う生徒たち

乳幼児医療費助成の所得制限撤廃等

質問 少子化の最大の理由として経済的負担が上げられており、乳幼児医療費助成制度の所得制限の撤廃、制限の段階的引き上げは少子化対策の上で重要だと思いが見解は。

市長 現在、市の所得制限額は都の補助基準額を設定しており、国や都を初め当市の財政状況も非常に厳しい状況下に置かれている事情を御理解願いたい。

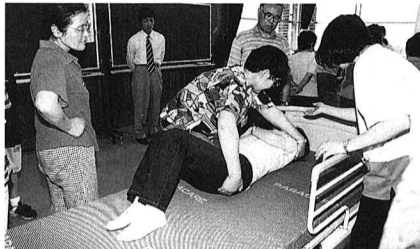
介護保険制度への対応は

どうなっているか

青海俊伯 議員

質問 ①介護保険制度の上乗せ、横だしサービスの考え方は。当市に必要な介護支援専門員は何人か。ホームヘルパーの人員と今後の対策は。また苦情窓口の設置は。

市長 ①上乗せ、横だしはサービス水準と保険料のバランスの中で慎重に考えたい。介護支援専門員は二十名必要である。またホームヘルパーは大幅な不足にはならないと考えている。苦情は介護保険課を窓口にした。



▲介護者の基本姿勢を学ぶ受講者 (社会福祉協議会による介護講座で)

②一般的に言われる難病疾病のうち、より悲惨な疾病を医療助成の対象として手当を支給している。

通学路の安全対策

質問

平成七年から九年度にわたり都からあった通学路の安全点検調査依頼の結果と行動計画はどうなっているか。また関係部課による検討

市内商業会などの地域経済振興について

乾 栄三郎 議員

障害者用ファクシミリなどの実施を

質問 ①商業会に対する装飾街路灯の電気料補助率の見直しを。②福生国際ホテルなど閉鎖したビルの放置に何らかの対策を。③銀座通り、中央商業会等の今後の整備計画は。

市長 ①厳しい財政の中で、補助率の引き上げは困難であるが、検討したい。②民間の問題であり、地域経済振興の観点から行政のできる範囲は限界がある。③計画策定の準備段階であるが、平成十二年度以降に順次着手したい。



▲整備待たれる銀座通り

市長 ①火災等発生時には担当職員はごく短時間に状況を把握、連絡等の対応に迫られるので文字情報で周知するのは困難であるが、技術的研究も含め、災害弱者への対応に努力したい。

教育長 ②駅前への増設は一つの方法であるが、本の汚れ等の問題も予測されるので、各市の状況等調査したい。

中学校給食は

なぜできないか

奥富喜一 議員

質問 自校直営方式の答申が出されて八年たつが、教育の一環として最重要課題であるのか、その障害と除去への努力は。

教育長 教育時程の問題、調理・配膳施設、ランチルーム確保等の整備面で困難があり、その状況は現在も変わっていない。その対策にデリバリーランチを実施し、今後も続けるとともに、他市を参考に家庭からの弁当併用方式の給食が実施可能かどうか研究

道路・公園などの

バリアフリー推進を

質問 ①道路側溝のふたを車いすでもスムーズに通行できるよう編み目の細かいグレーチングに交換できないか。②この公園でも車いすで気軽に行けるよう、入口をなだらかなスロープ等に改善を。

市長 ①現地をよく確認し、病院、公共施設周辺を優先し、道路の改良にあわせ、よりよきものに改善したい。②公園の改良時点等にあわせ、取り組み可能な公園から計画的に実施したい。



▲楽しい昼食の時間

介護保険制度実施に向け

サービス基盤整備を

松山 清 議員

質問 ①低所得者などへの保険料、利用料の減免制度の考え方は。②ホームヘルパーや特別養護老人ホーム等のサービス基盤の整備の見直しは。③当制度によって現在よりも当市の負担額はふえるのか、減るのか。

市長 ①制度上は低所得者への配慮はされているが、市民税非課税者は被保険者の七〇%になり、減免対象とした場合、保険制度そのものが成り立たなくなるので、国保の減免制度に近い、極めて限定された減免制度になる。

②ホームヘルパー、訪問入浴サービスはほぼ供給でき、デイサービス等は六割、ショートステイは四割、グループホームは十二年度は間に合わないが、特養などの施設サービスは西多摩地域全体で対応するので他地域に比べ整備されている。

③制度により自己負担額が異なるので単純に比較はできないが、当市の場合約一億八千六百七十万円ほど減少する見込みである。



▲介護者には車いすの扱い方も重要

①介護保険制度に対する対応について

②特殊疾病患者福祉手当について

○行政システムの整備について

①ホームページ開設の現状と今後の方向性について

②市民参加型のシステムについて

乾 栄三郎 議員

○地域経済振興について

①市内商店街(商業会)の装飾街路灯の電灯料の補助率の見直しについて

②市役所前、福生国際ホテル及びガソリンスタンドの現状に対して

③銀座通り中央商業会・東銀座商業会の街路灯及び道路の整備について

○市民へのサービスの充実について

①聴覚障害者への防災連絡のシステムについて

②図書館貸し出し書籍の返却窓口の増設について

奥富喜一 議員

○中学校給食の実施について

○駅前自転車駐輪場について

○無料化に戻すことは当然のこととして、当面定期利用者の割引の実施と施設の改善について

○不況対策について

○市内業者を利用している住宅リフォームの場合に五% (消費税相当分) の補助をする考えは

○障害者対策について

①道路側溝のフタを車椅子でもスムーズに通行できるように改善を

②各公園の入口を車椅子で通れるようになだらかなスロープを

松山 清 議員

○介護保険について

①六十五歳以上(第一号被保険者)の保険料はいくらになるのか

②所得の低い人などへの保険料・利用料の減免制度をつくる考えは

③ホームヘルパーや特別養護老人ホームなど各サービスの基盤は十分なのか

④現行サービスの中で保険給付外となるものはどう対応するのか

⑤保険対象外とされる人の措置をどうするのか

⑥介護保険によって現在よりも市の負担は増えるのか、減るのか

○基地問題について

①石原知事の横田基地返還についてどう対応していくのか

②C-130の誤投下について

③ガイドライン法についてどう対応していくのか

今林昌茂 議員

○熊川・松原線の自由通路について

①昭島市と福生市の事務担当者会議の経過と見直しについて

②避難路築造に要する予想経費について

③築造に対する課題について関係機関との折衝の結果を伺いたい

④築造されるまでの

○市内業者を利用している住宅リフォームの場合に五% (消費税相当分) の補助をする考えは

熊川・松原線の自由通路の見通しは

今林昌茂 議員

質問 昭島市松原町と当市福東地域を結ぶ避難通路は住民の期待が大きく、一刻も早い築造が待たれるが、昨年度来の両市の担当者会議の経過とその見通しは。

市長 平成九年以降、延べ五回の担当者会議を開き、諸課題の検討や整理、今後の進め方を協議したが、困難性等



▲期待大きい線路横断の自由通路(拝島駅で)

まったり、まずに汚泥が詰まっていたり雨水排水の不備なところがある。梅雨時を迎えその整備はどうなっているか。

市長 雨水排水の不備な箇所は雨水管が埋設されていない道路で、道路勾配が余り取れない箇所とか、道路の地形が低い箇所と思う。地形等の問題で、雨水処理施設の設定がすぐには難しい箇所もあり、現地をよく調査し対処したい。

高まっているが、地域に向き市政の仕組み、防災、環境等の講座を市民の要望に応じ、小グループごとに開く出張講座導入の考え方は。

教育長 職員専門性、担当部署の事務量等クリアすべ

バリアフリーのまちづくりについて

小野沢 久 議員

質問 ①都の福祉のまちづくり条例に準じた取り組み状況は。②福生駅東口のエレベーター設置の進捗状況は。

市長 ①九年度は届出二件、十年度は十五件の相談、二件届出、整備基準適合証の交付一件である。②JR、関係権利者との協議を継続しており、実現に向け努力していきたい。③十一年三月末の歩

中学校給食実施の現状と今後の取り組み

質問 デリバリーランチの実情と今後の取り組みは。

教育長 毎日利用している生徒や、急な家庭の事情で弁当を持参できない生徒の利用があり、今後も継続していく必要があると思うが、家庭からの弁当併用方式の給食が当市で実施可能かどうか、他市を参考にしながら研究しなければならないか、他市を参考にしながら研究している。給食の今後の方向は、少なくとも二十世紀中に決めたいと思っ

市内循環コミュニティバスなどの導入を

沼崎満子 議員

質問 ①多摩地域で福祉型コミュニティバスを導入している他市の状況はどうか。

市長 ①福祉型以外の市内循環バスも合わせ、導入予定も含め武蔵野市、三鷹市等七市あり、事業費は年間四百七十万円から六千六百万円となっている。

②市域が狭く、駅は五つあり、必要性は余りないと思うが、導入を考えた場合には、市民ニーズ、財政負担等調査分析する必要がある。



▲市内を走る民営バス

「生涯学習まちづくり 出前講座」の導入を

質問 生涯学習の必要性が



▲望まれる福生駅東口へのエレベーター

ボランティア活動の保証と位置づけの考えは

高橋章夫 議員

質問 ボランティア連絡協議会が依頼先に適した人材を派遣しているが、今後の組織づくりや保証、位置づけは。

市長 ボランティア活動は主体的、自主的に取り組むものだが、活動力や責任能力において限界があり、保証や責任の明確化の問題がある。ボランティアセンターが中心と

なってバックアップし、ネットワークづくり、研修の拡充、保険加入など保証の面にも万全を期して支援、援助に努めてまいりたい。

陸橋通り・国道十六号線の拡幅促進状況は

質問 陸橋通りは終日渋滞し、大変危険な状態だが、拡幅工事の進捗状況は。また国道十六号線武蔵野陸橋拡幅工事の進捗状況は。

市長 都では陸橋通りについては十一年度から四年間程度で用地買収を完了させ、その後三年間で工事を完了させたいとのことである。国道十六号線については十一年度内に道路設計の地元説明会を開催する予定とのことであり、今後も早期実現に向けて国や東京都へ要望していきたい。



▲福祉まつりでは毎年多くのボランティアの方が活動している

介護保険制度実施に向けての対応は

比留間和夫 議員

質問 市役所以外に介護保険制度の相談場所の設置は。また、調査はだれが行うのか。財政面での影響や看護ステーションと療養型病院の病床確保は。

市長 在宅介護支援センター等で相談を受け付け、調査は市の職員やケアマネージャーが行う。財政面では約一億八千万円の負担減を見込んでいます。また訪問看護ステーションは市内に一カ所あり、療

JR八高線複線化計画の進捗状況等について

質問 ①拝島駅、瑞穂電車基地間の複線化計画の進捗状況と完成の見通しは。

市長 ①平成十二年三月完成予定となっているが、オオタカ営業調査や用地買収の進捗状況の関係から完成の時期は未定である。

②新駅をつくる基準としては駅と駅の間隔が四キロ以上であること、駅舎を含め、駅前広場や道路整備を市が全額負担するなど厳しい条件があり、JRに要望はしているが、実現は容易ではないと思われる。

問、無料通行できる施設について

高橋章夫 議員

○市内道路の雨水対策について

○子育て支援策について

市道と都道を含めての雨水排水の整備について

○産業政策について

沼崎満子 議員

○福祉行政について

①三多摩地域で福祉型コミュニティバスを導入している他市の状況について

○産業政策について

②市として不便対策としてコミュニティバスの導入の考え方について

○福祉行政について

生涯学習について

○これからの産業政策について

「生涯学習まちづくり 出前講座」の導入について

○地域振興券の中間報告について

小野沢 久 議員

○介護保険制度について

①福祉のまちづくりの取り組みについて

○介護保険制度について

②福生駅自由通路東口のエレベーターの進捗状況は

○産業政策について

③歩道の整備について

○産業政策について

都知事交代による都との関係について

○産業政策について

①横田基地について対応の変化はあるか

○産業政策について

②宇宙科学館の見通し

○産業政策について

③陸橋通り新興多摩街道等の事業について

○産業政策について

○中学校給食実施について

○産業政策について

議事を傍聴してみよう

次の定例会は9月1日(水)からの予定です。本会議の傍聴はどなたでもできます。くわしくは、議会事務局にお問合わせ下さい。

551-1511 (内線 512)

委員会の審査から

今定例会の常任委員会では、議案と陳情の審査が、六月十四日、十五日、十六日の三日間、厚生、建設、総務の順で行われました。

また、議会運営委員会も、六月定例会に際し、五回行われました。ここでは、各委員会から報告された主な審査概要をまとめました。

厚生委員会

六月十四日に開催された委員会では、現地視察の後、付託された議案三件、陳情四件の審査をしました。

◎福生市介護認定審査会の委員の定数等を定める条例

委員より、当市における実際の委員数は、またケアマネージャーは決まっているかとの質疑に対し、十人の委員で実施する予定、ケアマネージャーの試験に受かった三十九



▲福生ひまわり共同作業所を視察する厚生委員会委員

名の方が現在研修を受けており研修終了時点で介護支援専門員の資格が与えられるとの答弁があった。また一件当たりの審査時間や審査件数及び審査委員会の定数の考え方等の質疑に対し、審査会での一件当たりの時間は約六分を予定。審査件数は、九百から一千件を想定、審査会は週一回から二回開催、一回の審査時間は、三時間程度を予定しており、当面十名の委員のローテーションで開始、常時六名から七名を考えているとの答弁があり原案のとおり可決されました。

◎平成十一年度福生市一般会計補正予算(第一号)

委員から、審査会の開催予定回数、医師及び医師以外の額の他市との比較は、との質疑に、審査会は三十三回開催予定、医師が二万四千円、医師以外の委員が一万八千円であり、檜原村を除く四市三町は同額との答弁があった。また国が半額補助する基準額及び他市での認定時間は、との質疑に、国の基準は五人の審査員が一時九千九百九十円、三十六回、当市では一回三時間三十件強、三十三回開催予定。認定時間は、各自自治体によって件数等で違ってくるが、当市としては時間をかけての予定との答弁があり原案のとおり可決されました。

◎平成十一年度福生市老人保健医療特別会計補正予算(第一号)

支払基金交付金の医療費交付金の補正額は十年度分の不足額との説明に、委員から内容を詳しくとの質疑があり、医療費が確定するまでは推計により交付され、医療費の確定による差額を十一年度の支払基金の交付金からいただくための補正、との答弁に原案のとおり可決されました。

建設委員会

六月十五日に開催された委員会では、多摩川排水区日一十その一工事の工事現場と田園西地区区画整理事業についての現地視察を行った後、付託された議案一件と陳情一件の審査をしました。

◎福生市下水道条例の一部を改正する条例

東京都公害防止条例の一部改正に伴い、特定事業場から公共下水道に排除される下水の水質の基準を改める改正であり、東京湾の窒素、燐の水質濃度は環境基準を上回っている。このため、東京湾の水質改善のために排水規制が必要となり、発生源の一つである工場や事業場からの排水について、窒素や燐の含有量の基準値の見直しをする改正であるとの理事者の説明があり、質疑は特になく、原案のとおり可決されました。

◎福生第五小学校建物耐震補強工事請負契約

三つの請負契約案件について、委員から、入札予定価格の議案書記載は一歩前進であるが、事前価格公表の考えはとの質疑に、透明性は確保されるが、競争性が確保されるか、また高値安定になる恐れも考えられる等の答弁があり、原案のとおり同意されました。

総務委員会

六月十六日に開催された委員会では、付託された議案五件と陳情一件を審査しました。

◎福生市非常勤の特別職の職員報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

平成十二年四月から実施される介護保険認定審査会委員の報酬についての委員の質疑に対して、医師及び医師以外の額の根拠については当市の医師の場合は、一回の審査時間を三時間と見込み、一時間当たり八千円と見込んで二万四千円とし、医師以外の委員は西多摩の統一額で一万八千円としている等との答弁があり、原案のとおり可決されました。

◎平成十一年度福生市一般会計補正予算(第一号)

介護保険事業に関する補正で、要介護認定事務事業と国庫補助金等との説明に、委員から事業費に対する国の補助基準の差についての質疑があり、国の基準と市の実態との差は、市の持ち出しとなるとの答弁がされ原案のとおり可決されました。

◎福生第一小学校建物耐震補強及び内装改良工事(建築)請負契約

その外、米軍機C-1190砂袋誤投下事故についての抗議、C-119ナイチンゲールの部品落下事故について、今後の徹底した安全確保の要請や七月三十一日、八月一日に開催される日米親善友好祭における万全な安全対策の要請、また住宅防音工事については国より補助対象の変更等があったことの内容の報告がされ、閉会しました。

議会運営委員会

六月一日に定例会の会期、日程・議案の取り扱いなどを決めるための議会運営委員会が開催されました。

が開催されました。会期中には三回の議会運営委員会が開かれ、本会議の日程等を協議しました。また、議会だよりの編集のための委員会も行いました。

特別委員会活動から

横田基地対策特別委員会

六月二十二日に開催され、「周辺事態安全確保法について」や「C-1130砂袋誤投下事故について」等を協議しました。

道路交通問題対策特別委員会

委員会は、平成七年五月十日に初めて設置され、今回の統一地方選挙後においても、引き続き活動を継続することから設置されました。六月二十一日の委員会で、平成七年五月以後の委員会活動として、当初、都市計画道路については五路線を重点路線として決定、以後、都市計画による道路事業についての講演会の実施や都への要請行動を行ってきたことの経過報告とJR五日市線熊川駅周辺整備計画の調査報告の説明が理事者からされた後、今後都市計画道路の3・4・3の2号線(新五日市街道線)、3・4・5号線(新興多摩街道線)、3・4・10号線(東京環状線)を重点的に進めるとともに鉄道関係についても運動を進めることを確認しました。

福生病院移管対策特別委員会

本年五月の臨時会で新たに設置された特別委員会が、二十一日にはじめての委員会が開かれました。福生病院の福生、羽村、瑞穂の二市一町への移管問題について、平成十年五月、三市町首長会議で引き受ける方向で進むことが確認され、今年二月に福生市・羽村市・瑞穂町・東京都・国保連合会で「福生病院の移管準備に関する覚書」を取り交わしました。その後、本年四月には福生市保健センター内に三市町と東京都からの派遣職員からなる移管準備室が開設されました。理事者からこのような経過の説明があり、その後、今後の活動方針について協議しました。

今定例会の各委員会で審査された結果、採択となった陳情・請願はありませんでした。

議員表彰

関東市議会議長会、及び全国市議会議長会では、議員として永年地方自治に功績のあった方々を表彰しています。平成11年度においては、次の方が表彰されました。

- 議員二十年以上
- 遠藤 洋一
- 小野沢 久

編集後記

市議会だよりをお届けします。四月に行われた市議会議員選挙後、議会運営委員会も新しい委員で構成され、六月定例会を無事に終了することができました。

今定例会の特色は、理事者側から介護保険の実施、福生病院の移管に向けた動き、そして市民参加による基本構想策定への福生市基本構想審議会の答申が提示された事等が言えると思います。また、議会側からの一般質問では、石原新都知事発言に関する横田基地問題について四人の議員が質問し、問題意識の高さが示されました。新人の議員はよく勉強し、張り切っている様子が伺われました。

私達新議会運営委員会委員も市行政の動き、また議会が何をしているのか、市民の皆様が理解していただけるような、議会報づくりに頑張っていきたいと思っております。

- 編集委員 (議席順)
- 小嶋英男 森田昌巳
- 沼崎満子 山下 進
- 大野悦子 松山 清
- 野口秀世 須釜亮次
- 小野沢 久